



## 平成29年度 学力調査の結果について

4月19日に全国の6年生を対象とする「全国学力・学習状況調査」、7月7日に東京都の5年生を対象とする「学力調査」を実施しました。これらの本校児童の調査結果抜粋と、結果を踏まえた今後の指導の取り組みの概要についてお知らせします。

### 1 平成29年度全国学力・学習状況調査（6年生対象）

各教科・領域毎の調査結果（平均正答率）

#### （1）国語

	学習指導要領の領域				A・知識	B・活用
	話す聞く	書く	読む	知識		
大泉東小	73.7	62.7	72.6	81.1	78.0	64.0
全国	69.2	60.6	70.2	78.0	74.8	57.5

※学習指導要領の領域の結果は国語Aの調査結果

<考察>

#### ①結果

学習指導要領の領域における結果は、ほぼ全体的に全国の平均正答率を上回っています。特に話す聞くの領域では、全国と比べて、正答率の高さが顕著にあらわれました。A知識、B活用も全国の平均正答率を上回っています。また、正答数集計値をみると、8割以上を正答する児童が61.8%、2割以下だった児童は1.6%でした。

#### ②課題

問題別で見ると、漢字を正しく読んだり書いたりする問題の正答率が、やや低い傾向にありました。学年別漢字配当表に示されている漢字を、各学年において正しく読んだり書いたりして、各教科や日常生活で使用する文や文章で適切に使うようにすることが課題です。

#### ③今後の方策

学習した漢字の繰り返し練習や確認テストを定期的に行うことに加え、様々な場面で、漢字のもつ意味を考えながら学ぶ指導を行います。また、国語以外の他教科等の調べ学習や日常生活の中でも積極的に国語辞典や漢字辞典を利用して、調べる習慣を身に付けるようにします。今後も話す聞くの能力をさらに高めるために、対話的学びを重視するとともに、他教科等とも関連付けながら多くの場を設定していきます。

#### （2）算数

	学習指導要領の領域				A・知識	B・活用
	数と計算	量と測定	図形	知識		
大泉東小	79.7	74.2	81.8	82.2	80.0	48.2
全国	80.6	68.8	81.1	79.6	78.6	45.9

※学習指導要領の領域の結果は算数Aの調査結果

<考察>

#### ①結果

学習指導要領の領域における結果は、数と計算の領域以外は、全国の平均正答率を上回っ

ています。A知識、B活用ともに全国の平均正答率を上回っています。また、正答数集計値をみると、8割以上を正答する児童が66.8%、2割以下だった児童は4.1%でした。

## ②課題

問題別で見ると、乗法の性質を用いて、小数の乗法計算の仕方を考える問題や四則計算の技能が十分に身に付いていない傾向にありました。また、具体的な問題場面を基に、最小公倍数や最大公約数の意味についての理解を確実にできることが課題です。

## ③今後の方策

習熟度別指導を取り入れ授業方法を工夫し、子供の意欲を高め、補習を目的とするチャレンジタイムを活用して、子供の基礎基本の定着を目指します。特に、整数や小数、分数の計算においては、計算の意味と計算の仕方を図や数直線などを用いて関連付けて、繰り返し計算の能力を身に付けることができますようにします。東京ベーシックドリルなども活用しながら、下学年の内容を復習し、基礎基本の定着を図っていきます。さらに、対話的学びを充実いさせて、思考力・判断力・表現力を高め、活用する能力を高めていきます。

## (3) 生活・意識調査の設問と結果・考察【抜粋】

本調査は子供による自己評価です。数値は本校児童の設問に対する肯定的回答の割合を表します。( )内の数値は全国平均の割合を表します。

自分にはよいところがあると思いますか。 **68.6%** (77.9%)

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 **78.1%** (86.0%)

本校の教育目標は、『誇りと自信をもつ子』です。子供同士が認め合う、教職員・保護者・地域等の大人が子供を褒める機会を増やしていきます。学校・学年・学級の活動や異年齢集団活動、保護者や地域の方々の協力のもと実施できるよう教育活動の全体計画を充実させていきます。

友達と話し合うとき、

友達の話最後まで聞くことができますか。 **87.3%** (77.9%)

友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。 **80.5%** (85.6%)

授業の中で、ペアやグループでの話し合いをさらに充実させ、振り返りを生かしながら深い学びにつなげていきます。また、道徳の授業の中で多様な考えや感じ方を受け止め、多面的・多角的に考える力を育てていきます。

5年生までに受けた授業の中で

目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。 **83.9%** (88.2%)

自分の発表をする機会が与えられていたと思いますか。 **78.0%** (84.7%)

学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。 **79.7%** (84.5%)

最後に学習内容を振り返る活動をよくしていたと思いますか。 **74.6%** (76.2%)

ノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。

**91.5%** (88.7%)

授業改善の手法として、「主体的・対話的で深い学び」の充実が必要です。本校では2年前から、授業過程5則（ねらい・自力解決・発表と協議・振り返り・まとめ）を、授業を進める基本として全学級で行っています。しかし、子供の認識から見ると十分ではありません。今後その内容の質を高めていきます。

授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活で生かしていますか。83.1% (82.6%)

これからの予測が困難な時代に、一人一人が未来の創り手になることが必要です。今後も子供が主体的に学び、習得した知識・技能を生かし、思考・判断・表現する力を付けていきます。そして、社会・世界と関わり、よりよい人生を送るための学びに向かう力や人間性を養っていきます。このような視点から、教育活動全般を改善・充実させていきます。

## 2 東京都 平成29年度児童生徒の学力向上を図るための調査（5年生対象）

### （1）各教科の調査結果（平均正答率）

教科	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容		AとBの合計	
	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都
国語	71.7	67.5	73.1	71.7	71.9	68.1
社会	79.0	76.1	68.4	61.9	75.8	71.8
算数	71.6	63.7	52.1	47.9	67.9	60.7
理科	69.9	69.4	85.2	78.9	74.5	72.2

### （2）観点別の調査結果（平均正答率）

教科 の内容	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 (国語：話す・聞く)		技能 (国語：書く)		知識・理解 (国語：言語)		読む	
	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都
国語	95.0	94.6	76.2	71.2	73.5	72.7	73.9	59.7	70.6	65.7
社会	89.9	89.1	79.0	75.5	78.9	78.2	71.6	66.4		
算数	93.3	92.4	61.5	50.3	74.5	66.0	65.2	65.6		
理科	94.5	93.2	70.8	66.5	60.2	62.1	65.2	66.5		

読み解く力 に 関する内容	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都	大泉東小	東京都
国語	77.3	83.4	66.4	64.7	75.6	66.9
社会	81.5	75.3	52.5	51.8	64.7	52.1
算数	76.9	74.4	68.9	61.8	10.5	7.5
理科	87.8	83.8	86.6	77.6	81.1	75.3

### <考察>

#### ①結果と課題

全体的に東京都の平均より概ね良好な結果を示しています。

国語…国語の5つの観点については、全て都の平均を上回っています。一方、「取り出す力」では、都の平均を下回っています。これは、文章から大切な情報を正確に取り出す力に課題があることを意味します。また、漢字や文法に関する問題で誤りが見られました。

社会…全ての項目において、都の平均を上回っています。ただし、資料から大切な情報を「読み取る力」については課題が見られます。複数の資料を関連付けて読み取る力を伸ばしていく必要があります。

算数…全ての項目において、都の平均を上回っています。ただし、「解決する力」については、都の平均を上回っているものの、なおも低い数値を示しています。図をかいて考えたり、表でまとめて考えたりすることに課題が見られました。

理科…「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」は、都の平均を上回りました。一方、「技能」「知識・理解」は都の平均を下回っています。実験器具の扱いに誤りが見られました。また、物質の性質等についての理解に課題があります。

## ② 今後の方策

国語…文章や資料を読む際、重要な表現や語句に注目しながら読む力を深めていきます。キーワードを見つけながら文章を読んだり、キーワードを用いて文章の要旨をまとめたりする活動に重点をおきます。漢字・文法事項については、プリント等を活用し、繰り返し練習を行います。

社会…適切な資料をさがす、資料から読み取る学習を増やし、そこから考えられることを書く活動を確保していきます。また、学んだことをもとに、新聞やパンフレットなどにまとめる活動、自分の考えを発表する活動を充実させ、表現する力を伸ばしていきます。

算数…文章問題を解く際、問題の情報を正確に捉えるよう指導していきます。問題の場面や数量関係を、図や表で表す活動を十分に確保していきます。また、算数的活動を増やし、試行錯誤しながら課題に取り組む力を育てていきます。少人数算数では、児童の理解に応じた指導を行い、確かな学力の定着を図っていきます。

理科…実験の際には、正しい実験器具の使い方とそのように使う理由を一緒に確認します。そのことが安全に実験を行うことにつながることを理解させ、繰り返し指導します。また関連する既習の学習内容を確認しながら物質の性質などの学習をより丁寧に扱います。課題から予想立て、実験や観察を通して検証していくことを意識させることで、知識・理解の習得にもつなげていきます。

## (3) 児童質問紙調査の設問と結果・考察【抜粋】

学習の内容はどれくらい分かりますか。

「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と答えた児童の割合は、

**国語 (96.7%)、社会 (88.3%)、算数 (95.8%)、理科 (90.0%)**

多くの児童が学習に前向きに取り組み、その成果を実感していることが分かります。特に算数では、児童の理解度に対する自信が伺えます。今後も児童が分かる指導の工夫改善を行っていきます。

外国語活動の授業は好きですか。

「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童の割合は、**92.5%**です。また、「英語を使えるようになりたいですか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた児童の割合は、**90.0%**です。5年生は、今年の4月から外国語活動の学習を始めていますが、多くの児童が英語に興味をもち、楽しく外国語活動をしている様子が伺えます。

毎日読書をどのくらいしますか。

- ① 2時間以上 (**14.2%**)、
- ② 1時間以上～2時間未満 (**18.3%**)、
- ③ 30分以上～1時間未満 (**28.8%**)、
- ④ 30分未満 (**28.3%**)、
- ⑤ 読書をすることはない (**10.0%**)

読書習慣を身に付けている児童が多いことが分かります。学校でも休み時間に意欲的に読書をしている児童をよく見かけます。一方、ほとんど読書をしていない児童がいることも分かります。意識して本を読む時間を作ることも大切です。学校でも図書の日や朝読書の時間を活用し、読書活動を推進していきます。